

# 木のまち・木のいえリレーフォーラムインみやぎ

## 地域材を使ってもっと森林を元気に



### ● 基調講演

「協働による地域のすまいづくり・まちづくり」  
三井所清典 (芝浦工業大学名誉教授)

### ● パネルディスカッション

コーディネーター： 早坂みどり

パネラー： 鈴木信哉・小野瀬順一・板垣直行

**主催** 特定非営利活動法人 森林との共生を考える会  
**共催** 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会・「みやぎ木の家づくり」推進協議会  
**後援** 林野庁・宮城県・みやぎ材利用センター・宮城県木材協同組合・「みやぎ版住宅」在来工法の会・宮城木材文化ホール運営委員会・河北新報社・産経新聞東北総局・朝日新聞仙台総局 (予定)



**2009年10月3日(土)**  
**13:00 ~ 15:45**

会場 = パレス宮城野  
参加費 = 無料 定員 200名



仙台市青葉区上杉 3-3-1 (022-265-2223)

## 木のまち・木のいえリレーフォーラム in みやぎ

木材は地球温暖化の防止や環境型社会の形成に資する再生可能な資源で、緑の社会資源として森林を維持していくために、従来にも増して木材の利用を促進していくことが求められています。森林を守るためにも、木材利用の一層の促進および長寿命の木材住宅・建築物の普及等を進めることが重要となっています。また、木造住宅をはじめとする木造建築物の建設には、地域材を供給する林業・木材産業や大工・工務店など、多くの地場産業が関わっており、このような木造建築物の建設振興を図ることで森林の再生や雇用の確保・地域の活性化にも資することになります。こうした住宅・建築物への木材利用の取組を全国的に、より効果的に推進していくために、有識者、森林所有者、林業・木材産業及び住宅産業等、地方公共団体等の木材利用に取り組む関係者と木のことを知りたい。木の家に住みたいと一般市民が広く集い、木材利用に関する方策の検討、情報発信など共に考え・学ぶ場とするフォーラムを開催いたします。

### 三井所清典 Kiyonori Miisyo



1939年生まれ。東京大学大学院建築学専攻博士課程修了。現在、(株)アルセッド建築研究所代表。芝浦工業大学名誉教授。NPO法人木の建築フォーラム代表理事。木のまち・木のいえ推進フォーラム幹事。木造建築の技術の普及や

地域に根づいたすまい・まちづくりの支援として地元の設計者と工務店がコラボレートする活動を推進している。代表作に「宮崎県木材利用技術センター」があり、2002年宮崎県木造建築設計コンクール・最優秀賞受賞。

### コーディネーター

- 早坂みどり  
住空間工房代表、シルバン発行・編集人

### パネリスト

- 鈴木信哉  
林野庁木材利用課長
- 小野瀬順一  
前東北工業大学建築学科教授  
著書「日本のかたち縁起」「釣合と変形の力学」(彰国社)
- 板垣直行  
秋田県立大学建築環境システム学科建築材料学グループ准教授

### タイムテーブル

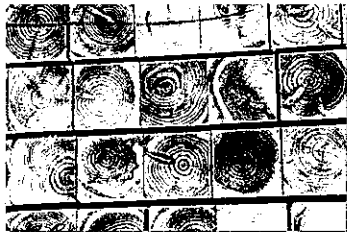
- ◆12:30⇒開 場
- ◆13:00⇒開会の挨拶
- ◆13:10⇒基調講演  
三井所清典氏  
(芝浦工業大学名誉教授)
- ◆14:00⇒「日本の木のいえ情報ナビ」の紹介  
(林野庁木材課)
- ◆14:10⇒休憩
- ◆14:20⇒パネル  
ディスカッション
- ◆15:45⇒閉会の挨拶

私たち NPO 法人森林との共生を考える会の活動は… 森林のあるべき姿や現状を伝え、日本の木を使うことが「森林文化」や「木の文化」を守り、日本の森林を守ることに繋がることを知っていただくための活動を続けています。

森林作業の体験



住まいづくりの提案



金華山での植林活動



(年会費 個人会員1口2,000円・法人会員1口10,000円) ●いっしょに学び、活動できる会員を募集しています。

特定非営利活動法人 森林との共生を考える会

〒982-0834 仙台市太白区青山 2-28-27 (住空間工房内)

Tel/Fax:022(229)3901 E-mail: silvan@io.ocn.ne.jp

### ●フォーラムのお申込み方法

FAX またはハガキでお申込み下さい。参加いただいた方に東北発・木のマガジン「シルバン」を贈呈。

## フォーラム参加FAX申込書

平成 年 月 日

【住所】 〒

【電話番号】

【氏名】

【参加人数】